

重点目標10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

変化する社会に柔軟かつ的確に対応し、豊かで生きがいのある人生を力強く歩み続けるためには、いつでもどこでも多様な方法で学習でき、生涯にわたって自ら学び自らを高めることができる生涯学習社会を実現することが大切です。

そのため、京都府内の各地域の特性を活かした多様な学習機会の提供、現代的課題の解決につながる学習活動の支援、生涯にわたって文化活動やスポーツ活動に親しむことのできる環境の充実を、社会教育関係団体などと連携・協力しながら推進します。

■主要な施策の方向性

- (38) 生涯学習環境の充実
- (39) 生涯スポーツ環境の充実
- (40) 生涯学習施設などを活用した学習活動の充実

■主な目標指標

※下線ゴシックは達成した指標

目標指標	基準値	目標	29年度実績	30年度実績	元年度実績	関連取組
文化財講座等の参加者数（年間）	7,918人 (H23～26年度平均)	8,000人	13,555人	12,126人	<u>10,416人</u>	①
週1回以上運動やスポーツを行う成人の割合	53.6% (H24年度)	増加させる	48.7%	調査なし	調査なし	②
府立図書館の本の貸出冊数	247,284冊 (H26年度)	270,000冊	245,860冊	249,350冊	244,868冊	③

■主な取組実績

取組名	①京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会											
取組実績	<p>○生涯学習社会の実現に向けて府内の社会教育をより一層推進するため、社会教育・生涯学習関係職員の資質の向上と専門的力量を高めることを目的とした研修会を開催</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>115名</td> <td>99名</td> <td>89名</td> </tr> </tbody> </table>					29年度	30年度	元年度	参加者数	115名	99名	89名
	29年度	30年度	元年度									
参加者数	115名	99名	89名									
担当課	社会教育課											

取組名	②京都府版マスタース大会開催事業<8,246千円>															
取組実績	<p>○高齢化社会を踏まえた健康対策、生涯スポーツ推進の観点からより多くの成年・中高年の健康増進に寄与するとともに、関西版マスタース大会やワールドマスタースゲームズ2021関西に向けた機運の醸成を図るため、京都府版マスタース大会を開催</p> <p>▶実施状況</p> <p>京都府民総合体育大会にマスタース部門を設置</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種目数</td> <td>23種目</td> <td>23種目</td> <td>23種目</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>12,471名</td> <td>12,664名</td> <td>11,648名</td> </tr> </tbody> </table>					29年度	30年度	元年度	種目数	23種目	23種目	23種目	参加者数	12,471名	12,664名	11,648名
	29年度	30年度	元年度													
種目数	23種目	23種目	23種目													
参加者数	12,471名	12,664名	11,648名													
担当課	保健体育課															

取組名	③府立図書館における府民の知的活動の支援<209,609千円>																									
取組実績	<p>○約132万冊の蔵書やデータベースを揃え、府民の調査研究に役立つ資料や情報を提供</p> <p>○府内全域に均質な図書館サービスを提供するため、府内の公立図書館等の蔵書を一括で検索できる「京都府図書館総合目録」を構築するとともに、全市町村を週に2回巡回して図書を搬送する「連絡協力車」を運行</p> <p>▶府内図書館等への貸出実績</p> <table border="1" data-bbox="464 461 1442 658"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府内市町村立図書館等 (相互貸借)</td> <td>21,700冊</td> <td>22,779冊</td> <td>22,544冊</td> </tr> <tr> <td>府内学校図書館等 (支援セット・機関貸出)</td> <td>22,993冊</td> <td>24,962冊</td> <td>28,293冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数計</td> <td>44,693冊</td> <td>47,741冊</td> <td>50,837冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成30年11月から本格実施した京都市図書館との相互返却サービス（府立図書館で借りた本を京都市図書館、京都市図書館で借りた本を府立図書館で返却できる制度）の一層の周知に努めた。</p> <p>▶実施状況</p> <table border="1" data-bbox="464 815 1442 1012"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度（月平均） （11月～本格実施分）</th> <th>元年度（月平均）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都市の本（資料）を 府立で返却</td> <td>176冊</td> <td>191冊</td> </tr> <tr> <td>府立の本（資料）を 京都市で返却</td> <td>591冊</td> <td>655冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>○府民の課題解決の拠点となるため、公的機関、大学、NPO等との連携・協働を推進</p> <p>▶取組状況：元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内の大学の図書館と連携した相互貸借サービスを拡大（9→11大学）→大学が所蔵する専門的な図書を府民が地元の図書館で閲覧可能に ・大学、博物館、民間団体等と連携し、岡崎での開館110周年を記念した講演会、落語会、展示会などを開催（7回） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休校となっている小学生を対象に京都大学の大学（院）生等の協力を得て、4日間「子どもの居場所づくり」を実施（学習・読書・科学体験・図書館見学等） <p>※令和2年4月までに延べ6日間59名参加</p>		29年度	30年度	元年度	府内市町村立図書館等 (相互貸借)	21,700冊	22,779冊	22,544冊	府内学校図書館等 (支援セット・機関貸出)	22,993冊	24,962冊	28,293冊	貸出冊数計	44,693冊	47,741冊	50,837冊		30年度（月平均） （11月～本格実施分）	元年度（月平均）	京都市の本（資料）を 府立で返却	176冊	191冊	府立の本（資料）を 京都市で返却	591冊	655冊
	29年度	30年度	元年度																							
府内市町村立図書館等 (相互貸借)	21,700冊	22,779冊	22,544冊																							
府内学校図書館等 (支援セット・機関貸出)	22,993冊	24,962冊	28,293冊																							
貸出冊数計	44,693冊	47,741冊	50,837冊																							
	30年度（月平均） （11月～本格実施分）	元年度（月平均）																								
京都市の本（資料）を 府立で返却	176冊	191冊																								
府立の本（資料）を 京都市で返却	591冊	655冊																								
担当課	社会教育課																									

取組の成果と課題〔重点目標10〕

<生涯スポーツ環境の充実>

【成果】

○マスターズ種目及び種目別交流種目数の拡大により、成年・中高年がスポーツに親しむ機会を提供できた。

【課題】

○ワールドマスターズゲームズ2021関西に向け、更なる周知や広報に努めるとともに、新たなマスターズ参加者層を創出する必要がある。

<生涯学習環境の充実>

【成果】

○生涯学習社会の実現に向けて、府内の社会教育を一層推進するため、社会教育、生涯学習関係職員並びに公民館職員、社会教育関係団体の指導者等の資質向上と専門的力量を高めることを目的に研修会、研修講座を開催し、府内より例年100名程度の参加がある。

○府立図書館では、図書資料の充実や相互貸借で連携する大学の拡充により、府内のどこに住んでいても地元の図書館等で高度な図書館サービスを楽しむように取り組んでいる。

○府立図書館が、情報の拠点としての強みを活かして、大学や公的機関、関係機関との連携を積極的に進めることにより、府民への多面的なサポートにつながっている。

【課題】

- 府民自らが主体的に地域運営に関わったり、学びや活動を通して互いにつながりあったりして、担い手を育成しながら地域の好循環を目指していくことが、これからの社会教育に求められており、それを推進していく社会教育関係者の研修をさらに充実する必要がある。
- 地域が直面する課題に向き合い、主体的に解決しようとする社会教育関係者や団体の活動を積極的に支援することが持続可能な地域づくりにつながることを踏まえ、学校や公民館等が拠点となる地域活性の動きを関係機関が連携してつくっていく必要がある。
- 府立図書館は、図書資料の更なる充実や大学との連携などにより、府民の調査研究のニーズに応える必要がある。
- 府立図書館は、大学や公的機関、関係団体と連携し、府民の知的活動の支援につながる取組を一層推進する必要がある。

京都府教育行政点検評価会議での意見[重点目標10]

- 豊かで生きがいのある人生を送るためには、生涯にわたって自ら学び自らを高めることが大切であり、現在の府教育委員会における生涯学習に関する取組はうまく展開できている。
- 府内図書館等への本の貸出が大幅に増加しており、多くの子どもたちが本を身近に触れられる環境がある。そのような取組のひとつの成果として豊かな人間性の育成にもつながってくるのではないか。
- 地域の運動会は子どもからお年寄りまで幅広い世代の人が集まり、みんながスポーツに親しむ機会があったが、そのようなイベントが減っていることも体力低下につながっているかもしれない。

「京都府教育振興プラン」に基づく取組一覧

第3章の取組の中には、1から10までの重点目標のうち複数に関連する取組があります。

下表では、「取組名」と「関連する重点目標」を一覧に取りまとめ、取組実績を記載した重点目標に「★」、関連する項目に「●」を付けています。

例えば「子どものための京都式少人数教育」は重点目標1と7に関連しますが、重複を避けるため、取組実績は特に関連が深い重点目標1にのみ記載しています。

取組名	重点目標（★：取組実績記載、●：関連項目）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
子どものための京都式少人数教育	★						●			
未来を拓く学校づくり推進事業【新規】 （新しい学び総合推進事業）	★									
論理的思考力育成事業【新規】 （新しい学び総合推進事業）	★									
課題解決型学習推進事業【新規】 （新しい学び総合推進事業）	★			●						
京都式「学力向上学習システム」の構築 （効果の上がる学力対策事業）	★									
中1振り返り集中学習「ふりスタ」 （効果の上がる学力対策事業）	★									
中2学力アップ集中講座 （効果の上がる学力対策事業）	★									
学力向上システム開発校 （効果の上がる学力対策事業）	★			●			●			
小・中学校学力診断テストの実施 （効果の上がる学力対策事業）	★									
中学生読解力向上対策 （効果の上がる学力対策事業）	★									
学びの深化プロジェクト【新規】	★									
理科教育推進事業 （効果の上がる学力対策事業）	★						●			
大学の先生に学ぼう体験事業 （効果の上がる学力対策事業）	★			●	●	●	●			
府立高校実力テストの実施 （確かな学力を身に付けるための支援事業）	★									
高校生学習チャレンジサポート事業 （夢に応えられる府立高校づくり事業）	★									
府立学校スマートスクール推進事業【新規】	★						●			
京都数学グランプリ、京都科学グランプリ （夢に応えられる府立高校づくり事業）	★			●	●					
道徳教育の推進		★								
豊かな心を育てる読書活動の推進 （豊かな心を育てる教育推進事業）		★							●	

取組名	重点目標 (★：取組実績記載、●：関連項目)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
読書活動推進事業		★				●				●
高校生「京の文化力」推進事業【一部新規】		★			●		●		●	
高校生伝統文化事業		★			●					
文化財対策事業【一部新規】		★								●
京の子ども体力・運動能力向上推進事業			★							
京都式「部活動サポート」事業			★				●		●	
薬物乱用ゼロ推進事業			★					●		
食育の推進			★							
夢に応えられる府立高校づくり事業	●			★	●					
人権教育の推進				★						
特別支援教育サポート拠点事業 (特別支援教育総合推進事業)				★			●			
特別支援教育充実事業				★			●			
府立高校特別支援教育支援員配置事業				★			●			
府立高校における特別支援教育の充実 (特別支援教育総合推進事業)				★		●				
地域等連携推進事業 (特別支援教育総合推進事業)				★			●			
羽ばたけ就労支援事業				★			●			
特別支援学校職業教育等充実事業				★			●			
幼児教育アドバイザーによる幼児教育支援【新規】 (新しい学び総合推進事業)				★						
学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業 (効果の上がる学力対策事業)				★			●			
KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 (豊かな心を育てる教育推進事業)		●		★	●				●	
わたしの未来づくり支援事業 (明日の京都を担う高校生育成支援事業)				★						
北部ものづくり人材連携育成事業【新規】	●			★						
京のアスリート育成・強化総合推進事業			●	★						
京都府母校応援ふるさと事業	●	●		★	●	●				
主権者としての高校生育成支援事業 (明日の京都を担う高校生育成支援事業)					★					

取組名	重点目標（★：取組実績記載、●：関連項目）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
子どもと社会を結ぶまなびづくり協議会（結ネットKYOTO）		●			★					
環境教育の推進					★		●			
情報教育の推進	●				★		●			
英語によるコミュニケーション能力の育成強化【一部新規】 （京都グローバル人づくり事業）					★		●			
英語教育人材育成強化事業 （京都グローバル人づくり事業）					★		●			
府立高校生グローバルチャレンジ事業 （京都グローバル人づくり事業）					★		●			
府立高校「海外サテライト校」事業 （京都グローバル人づくり事業）					★		●			
府立高校生グローバル文化カフェ事業 （京都グローバル人づくり事業）		●			★					
府立高校生夢チャレンジ留学支援事業					★		●			
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業						★			●	
学校安全教育の推進						★			●	
いじめ防止・不登校支援等総合推進事業【一部新規】				●		★		●		
少年非行対策				●		★				
生徒指導緊急指導教員の配置						★	●			
体罰事象への対応				●		★				
子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業 （京都式「学力向上教育サポーター」事業）	●					★	●	●		
小学生個別補充学習（ジュニア・わくわくスタ） （効果の上がる学力対策事業）	●					★				
地域未来塾開設支援事業 （子どものための地域連携事業）	●					★			●	
自然体験活動事業						★				
府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業 （確かな学力を身につけるための支援事業）	●					★				
高校生等修学支援事業						★				
府立学校施設整備事業【一部新規】				●		★				
今後の府立高校の在り方・高校制度改革				●			★			
教職員の働き方改革推進事業【一部新規】			●				★			

取組名	重点目標（★：取組実績記載、●：関連項目）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
「教師力向上」地元パワー活用事業							★			
教職員の資質能力向上等【一部新規】							★			
集まれ未来の教員サポート事業							★			
京都府公立学校教員採用選考試験の改善【一部新規】							★			
開かれた学校づくりの推進							★		●	
家庭教育資料の作成								★		
地域で支える家庭教育支援事業【新規】 （家庭教育支援事業）								★		
家庭教育カウンセラー巡回相談事業 （いじめ防止対策等推進事業）								★		
京のまなび教室推進事業 （子どものための地域連携事業）		●	●				●		★	●
地域学校協働活動推進事業 （子どものための地域連携事業）		●		●	●		●		★	●
いじめ・非行防止キャンペーン						●		●	★	
土曜日を活用した教育	●						●		★	
京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会										★
京都府版マスターズ大会開催事業				●						★
府立図書館における府民の知的活動の支援	●	●					●			★

第4章 総評

▶ 京都府教育行政点検評価会議委員の総評

- 京都府の教育に関しては、「主な目標指標の達成率が90%以上」の割合が現状で90.3%あることから、概ね良好と評価することができる。
- 今年度から新たに、第3章「京都府教育振興プラン」に基づく取組実績に「総括」ページを2枚にわたって作成していただき、大変見やすく、また、評価もしやすくなった。
- 学力の向上、キャリア教育、グローバル教育など、学校を訪れてみると生徒達の意欲はとても高いと感じる。この10年のプランに基づく取組に満足している。
- 学校が新型コロナウイルスと共存する上で、学習形態や人と人との関わり方など、様々なことに関して教育の不易と流行についてきちんと整理していく必要がある。また、不易の内容でも社会のトレンドに合わすべきことに京都府は対応できているのかという分析が大事になってくる。
- 今後は「京都式少人数教育」など、京都府教育委員会がこれまで力を入れてきた取組について、どのような成果や課題があるのか点検していく必要がある。
- 今回は新たに取組ごとに経費を示してもらった。次年度に向けては、取組内容についてコストも含めて担当課の内部評価及びその根拠を示してもらえるとより外部評価しやすくなる。

▶ 京都府教育委員会の総評

- 様々な技術革新や新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、子どもたちの学び方が大きく変わろうとする中、京都府がこれまで大事にしてきた「人を思いやる心の育成」や「一人一人を大切にした教育」はより一層大切になってくる。
- 論理的に物事を考える力は非認知能力を高めることにつながり、それに伴い生活習慣が改善し、学力の向上にもつながる。すべての子どもが心身ともに健康で豊かな人間力溢れる人材に成長できるよう、このような相乗効果のある取組を引き続き進める必要がある。

- その地域、その学校ならではの教育が必ずある。地元の文化や薫りを知り、それを守り、また誇りに思いながら他校との交流を通して違う文化も知る。このようなことは「豊かな人間性の育成」にもつながることであり、各学校が地域の特性を長所として遺憾なく発揮しながら進める取組について、府教育委員会として全力でバックアップしていく必要がある。
- 京都にはこんな文化財があるということを内外にもっとアピールして、特に地域の人にもっと知ってもらふ必要がある。また、今後、文化財の活用が進む中で防災面は重要な課題であり、各消防団体との連携が今まで以上に大事になってくる。
- 子どもの体力が低下傾向にあるが、家庭でのちょっとした生活の工夫により運動習慣が身に付いたり、握力の向上につながることもある。今後は、保護者に対する働きかけを強化するなど、様々な工夫をしながら総合的に体力の向上を図っていく必要がある。
- 幼児期の教育を充実させることは、子どもたちの豊かな世界を広げることである。公立・私立幼稚園、保育所、認定こども園といった幼児教育施設だけでなく、幼児期を家庭で過ごす子どもも含めて全ての子どもが自分らしい人生を歩んでいけるよう、幼児期ならではの学びを展開していく必要がある。
- 障害のある子ども一人一人が目を輝かせながら学校生活を送り、卒業後も共生社会の一員として活躍できるよう学校が地域や企業等と一体となって生きる力をはぐくむことが大切である。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充は、教員にとっては働き方改革につながり、子どもたちにとっては心の拠り所になる。ただ配置すればいいわけではなく、資質を備えたスタッフをしっかりと配置できるよう関係機関と連携を強化していく必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による学校の長期臨時休業により、学校で学ぶことの意義が改めて問われることとなった。京都府では、北部から南部まで地域毎の感染状況が異なる中、府教育委員会は朝令暮改となっても、保護者や生徒などの声に耳を傾け学校の種類や地域別に学校再開を実施するなど、教育長の強いリーダーシップを発揮することができた。今後とも、新型コロナウイルス感染症に限らず、どのような状況下においても子どもたち一人一人の学びを止めずに学習を継続・保障していく必要がある。